

漁海況速報

5-No. 7

茨城県水産試験場
漁業無線局

令和5年 5月 19日～ 5月 25日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

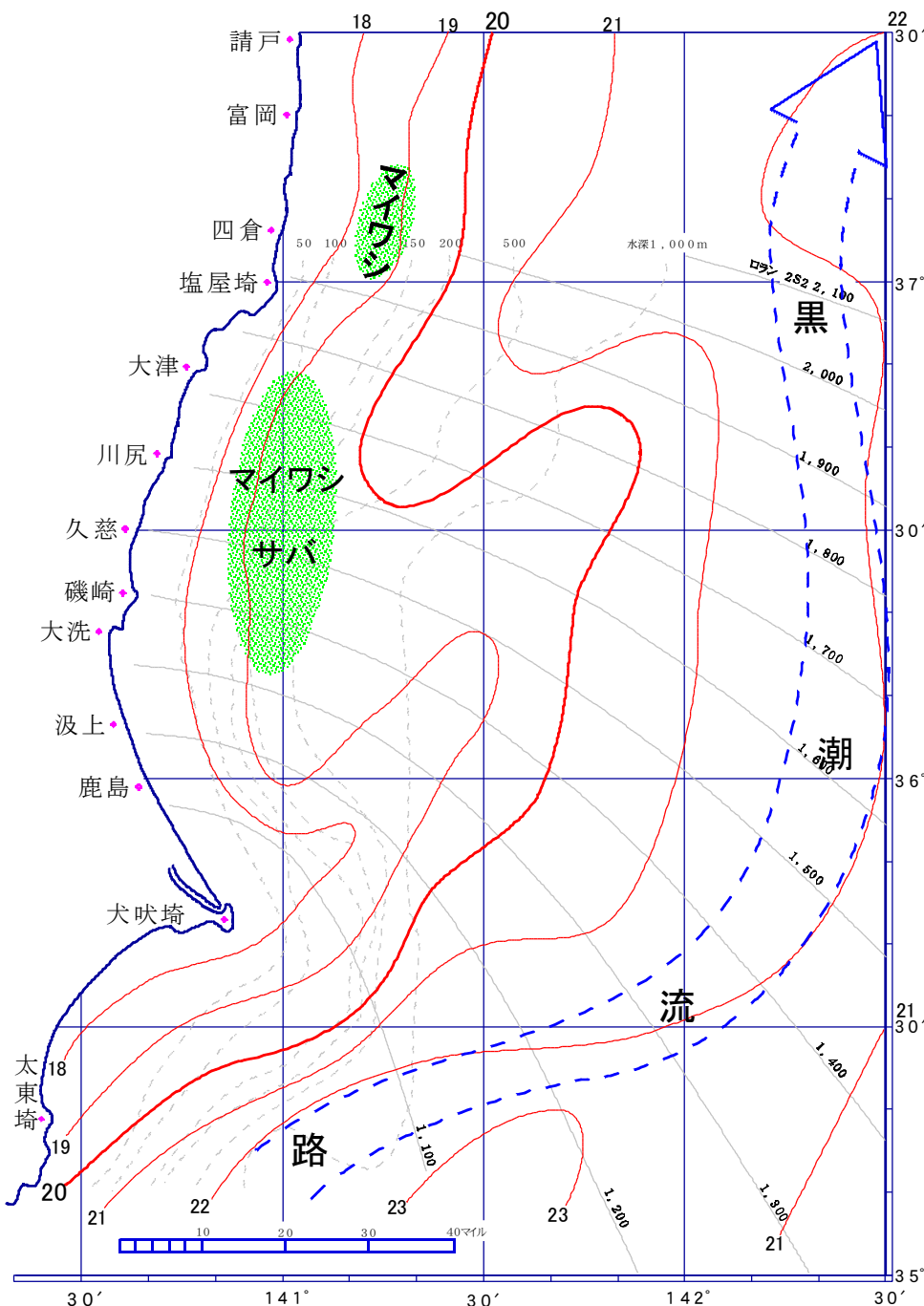
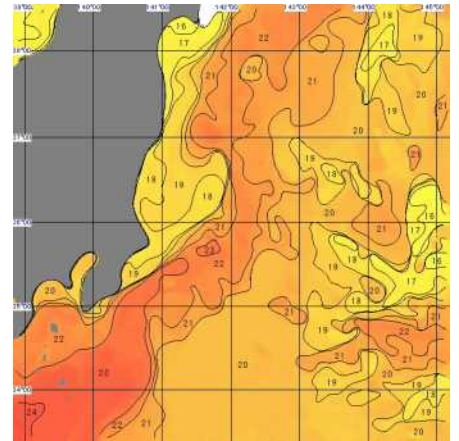
那珂湊定地水温 (°C)

日	令5	令4	平年
5/19	17.6	16.8	15.2
20	17.6	16.8	15.2
21	17.6	16.2	15.3
22	17.9	16.5	15.3
23	18.0	16.7	15.4
24	17.5	17.2	15.5
25	17.6	18.0	15.5
平均	17.7	16.9	15.3

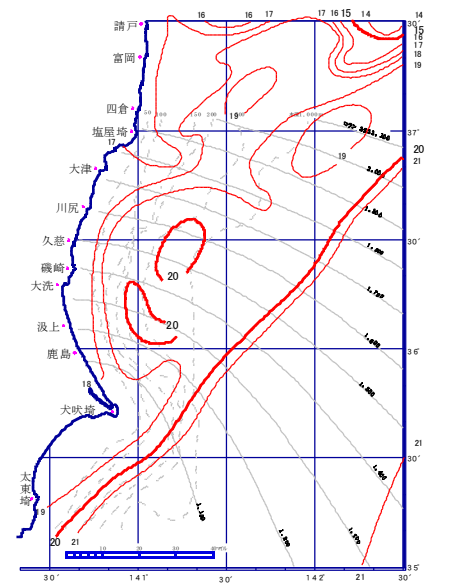
30年平均: 1991～2020年

令和5年 5月 19日～ 5月 25日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



令和4年 5月 20日～ 5月 26日

【海況図】

【海況図説明】

1. 黒潮は、犬吠埼の南東30マイル付近を北北東に流れ、
37°30' N 142°30' E付近を流去している。
2. 本県沿岸域は、17～19℃台の水温となっている。

漁況の特徴

5-No. 7

属地、単位＝四捨五入

5/18～5/24

◎ まき網

(漁獲は1投網当り)

マイワシ・・・金華山の南20マイル付近で2～145トン、良い船で260トン(1ヶ統)、塩屋崎の北東10マイル付近で10～170トン、大津の東南東10マイル付近から那珂湊の東南東15マイル付近で1～150トン、良い船で200～300トンの漁獲。

サバ・・・那珂湊の東北東20マイル付近で5トン(1ヶ統)の漁獲。

◎ 小型船

(漁獲は1隻当り)

◇船曳網
シラス・・・大津地先から高戸地先で8～840kg、日立地先で124～860kg、那珂湊地先から鹿島地先で66～1,040kgの漁獲。

カエリ・・・大津地先から高戸地先で1～80kgの漁獲。

◇曳釣り
那珂湊地先から大洗地先でヒラメ1～10kg、マゴチ1kg前後、タチウオ1～5kgの漁獲。

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数	
シラス	船曳網	久慈浜丸小	5,809	816	4,742,483	56	
		久慈町	6,689	911	6,095,995	41	
		那珂湊	1,892	962	1,820,250	10	
		大洗町	30,095	1,031	31,016,522	102	
		はさき	3,473	1,509	5,239,475	21	
サヨリ	大型定置網	久慈町	3	1,063	3,296		
ヒラメ	小底5t以上	平 潟	8,000	251	2,010,942		
		久慈町	478	278	133,185		
	固定式刺網	那珂湊	1,246	627	780,709		
		久慈町	20	421	8,370		
	その他釣り	那珂湊	28	808	22,780		
		平 潟	21	1,165	24,590		
			久慈町	9	872	8,110	
			那珂湊	76	1,020	77,018	
		大洗町	27	980	26,170		
	大型定置網	久慈町	209	299	62,442		
マコガレイ	小底5t以上	平 潟	1	560	672		
		那珂湊	6	2,079	11,850		
	大型定置網	久慈町	2	555	833		
タイ類	小底5t以上	平 潟	3	709	1,985		
		久慈町	3	200	500		
	その他釣り	那珂湊	144	552	79,471		
		久慈浜丸小	1	1,000	1,300		
		大型定置網	久慈町	57	552	31,492	
スズキ	小底5t以上	平 潟	243	246	59,634		
		久慈町	1	160	192		
	固定式刺網	久慈町	3	300	750		
		平 潟	2	189	321		
	その他釣り	久慈町	3	1,000	2,500		
		那珂湊	5	1,041	5,620		
			大洗町	2	700	1,260	
	大型定置網	久慈町	23	579	13,132		
アナゴ	小底5t以上	平 潟	2,724	437	1,191,186		
		久慈町	60	500	30,150		
		那珂湊	62	909	56,235		
アンコウ	小底5t以上	平 潟	1,990	70	138,324		
		久慈町	585	254	148,830		
		那珂湊	799	75	59,574		
ホウボウ	小底5t以上	平 潟	153	445	67,984		
		那珂湊	34	816	27,580		
	大型定置網	久慈町	5	681	3,270		
フグ類	小底5t以上	平 潟	9	1,371	12,611		
		那珂湊	6	1,000	6,100		
	その他釣り	平 潟	3	1,640	4,100		
イセエビ	固定式刺網	久慈町	235	4,885	1,147,034		
スルメイカ	小底5t以上	平 潟	124	252	31,271		
		久慈町	12	522	6,000		
		那珂湊	34	594	20,150		
ヤリイカ	小底5t以上	平 潟	157	536	83,874		
		久慈町	62	412	25,415		
		那珂湊	475	918	435,564		
マダコ	小底5t以上	平 潟	3	400	1,000		
		那珂湊	3	963	2,600		
ハマグリ	貝桁網	はさき	18,354	1,604	29,437,800		
マアジ	小底5t以上	平 潟	519	154	79,934		
		久慈町	60	30	1,812		
	その他釣り	那珂湊	597	149	89,130		
		平 潟	5	410	2,050		
		大型定置網	久慈町	335	298	99,529	
サバ	小底5t以上	平 潟	480	33	16,000		
		久慈町	35	30	1,045		
	大型定置網	那珂湊	179	161	28,900		
		久慈町	490	139	68,009		
ブリ類	小底5t以上	平 潟	36	147	5,233		
		久慈町	5	100	460		
	その他釣り	那珂湊	5	663	3,050		
		久慈町	2,818	211	595,875		
マイワシ	まき網	はさき	98,475	77	7,589,640	2	

注 延隻数:銘柄別隻数

茨城県水産試験場漁業無線局

春シラス漁の漁況経過と見通し

(1) 漁況経過

春シラス漁(2~7月)は、H26年から好調な漁模様が続いています。

今年は2月1日から3月上旬まで過去に例のない豊漁となった後、5月上旬まで低調に推移しましたが、5月10日に新規群の加入が始まり、5月17日には、1日で67トンを超える最盛期並みの漁獲がありました(図1)。

今年は例年と異なり、2月1日からウルメシラスが、2月下旬からはマイワシシラスが混じり始め、現在も、3種のイワシ類シラスが混在しています。

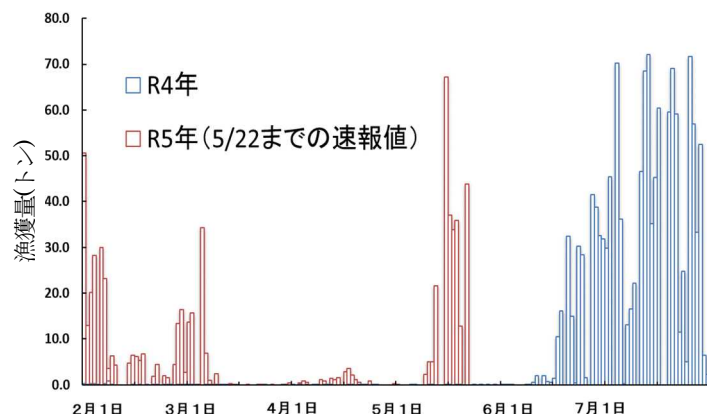


図1 シラス日別漁獲量の推移

(2) 今後の見通し

本県の6月と7月のシラス漁獲量は、海洋観測(会瀬~犬吠埼定線)10m深水温平均値が高いほど増加する傾向にあります(図2)。

(国研)水産研究・教育機構が開発した水温予測システム(FRA-ROMS II)の6、7月の10m深水温予測(5月24日時点)では、現在、三陸沖まで北偏している黒潮は、7月には若干南下するものの、流路は現状とほとんど変わらない予測になっています。

このため、本県沿岸への黒潮系暖水の影響が継続し、10m深の月平均水温は6月が22.2℃、7月が23.1℃と、平年より1~4℃高い予測になっています。この水温値を図2に当てはめて漁獲量を予測すると6月は約1,200トン、7月は約1,000トンになります。

また、いばらき丸が今年4月に行った調査で、カタクチイワシ卵稚仔の出現量が沿岸3地点で昨年6月よりも多くなっていました。カタクチイワシの卵稚仔は1か月程で漁獲サイズのシラスになることから、5月中旬から漁獲されだした新規群は、これらの卵稚仔が成長したシラスの可能性がります。

さらに、いばらき丸の5月の調査でも卵稚仔の出現量が多いこと、本県沿岸のカタクチイワシの産卵盛期は5~6月であることから、6~7月も、新規群の加入が期待され、今年の春シラス漁は好漁になる可能性が高いと考えられます。

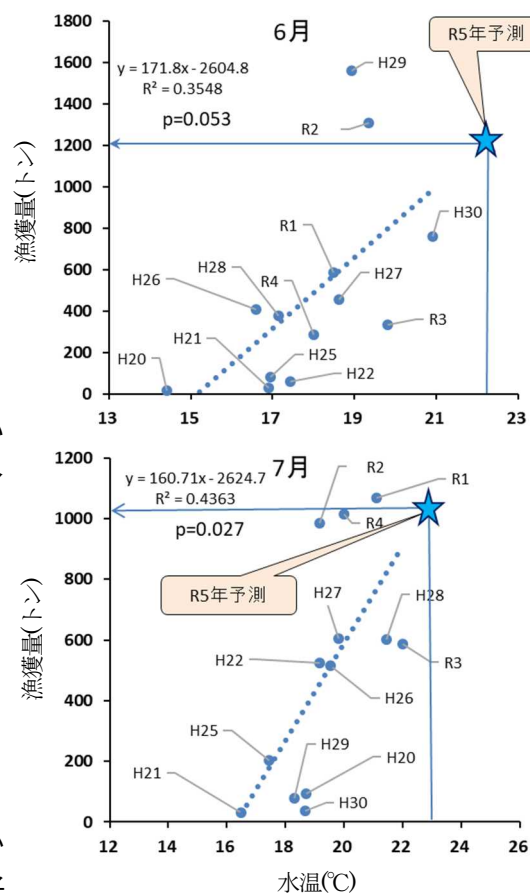


図2 シラス漁獲量と10m深水温との関係

(3) まとめ

FRA-ROMS IIによる予測では、6、7月は黒潮系暖水の影響が継続し、10m深水温は「平年並~やや高め」で推移すること、今後も卵稚仔の供給が期待できることなどから、6、7月の漁獲量は約2,200トンとなり、今年の春シラス漁(2~7月)の漁獲水準は「好漁」と予測されます。

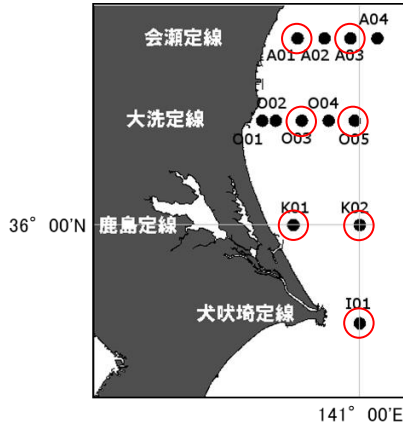
(回遊性資源部 茅根 正洋)

次号予告: R 5.6.9の「水産の窓」は「令和5年6月の海況と今後の予測」を予定しています。

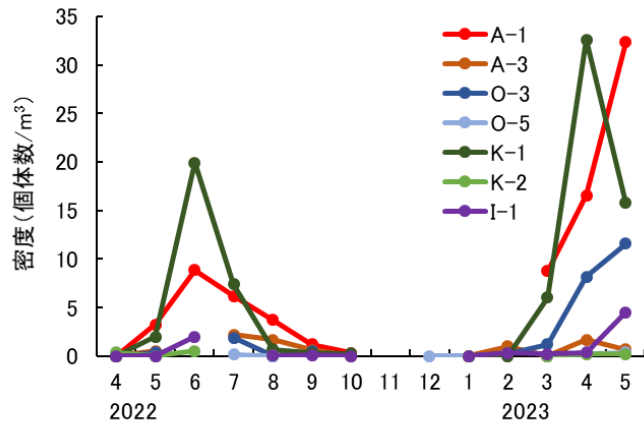
(参考) カタクチイワシ卵稚仔調査結果

茨城県水産試験場 回遊性資源部

調査船「いばらき丸」で実施した海洋観測調査で得られたカタクチイワシの卵稚仔の分布状況に関する情報です。カタクチイワシ卵稚仔は、1か月程度で漁獲サイズのシラスになります。



卵稚仔調査地点(赤丸)



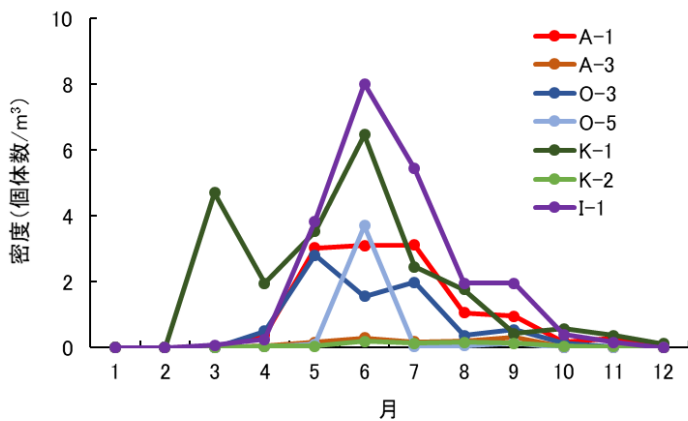
カタクチイワシ卵稚仔の密度の月別推移

表 カタクチイワシ卵稚仔の密度(1m³あたり)

年	2022										2023				
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
地点															
A-1	0	3.3	8.9	6.2	3.7	1.2	0.3	欠測	欠測	0	欠測	8.7	16.6	32.3	
A-3	0	0.5	欠測	2.2	1.7	0.6	0	欠測	欠測	0	1.0	0	1.7	0.7	
O-3	0	0.4	欠測	1.9	0	0.5	欠測	欠測	欠測	0	0.3	1.2	8.2	11.6	
O-5	0	0	欠測	0.2	0	0.05	欠測	欠測	0	0	欠測	0	0.2	0.3	
K-1	0	2.0	19.9	7.4	0.7	0.3	0.3	欠測	欠測	0	0	6.0	32.6	15.8	
K-2	0.4	0	0.5	欠測	0.04	欠測	欠測	欠測	欠測	0	欠測	0	0.2	0.2	
I-1	0	0	2.0	欠測	0.03	0.09	0	欠測	欠測	0	0.3	0.2	0.4	4.5	

- ・4月には、会瀬～鹿島の沿岸計3点で卵稚仔が多く出現しました。
- ・5月には、会瀬～鹿島に加え、犬吠埼でも卵稚仔が出現しました。

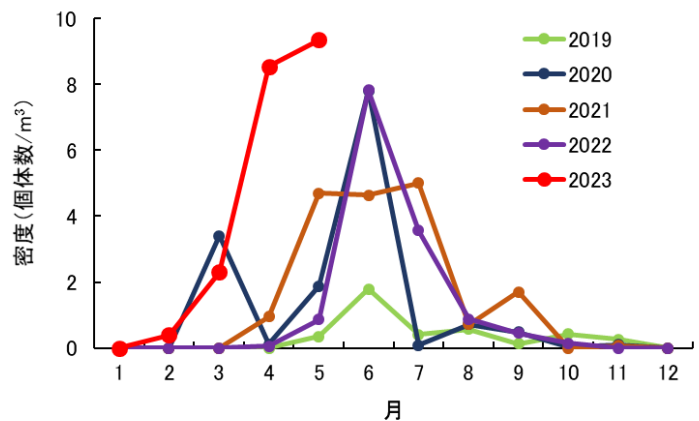
過去の卵稚仔の出現状況



2016-2021年におけるカタクチイワシ卵稚仔の密度の月別推移(地点別平均)

表 2016-2021年におけるカタクチイワシ卵稚仔の密度(1m³あたり)の平均値(地点別)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地点												
A-1	0	0	0.02	0.4	3.0	3.1	3.1	1.1	1.0	0.2	0.3	0
A-3	0	0	0	0.04	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.01	0.01	0.01
O-3	0	0	0	0.5	2.8	1.5	2.0	0.4	0.5	0.1	0.02	0
O-5	0	0	0	0.02	0.09	3.7	0.02	0.05	0.1	0	0.01	0
K-1	0	0	4.7	1.9	3.5	6.5	2.5	1.8	0.4	0.6	0.4	0.1
K-2	0	0	0	0.04	0.04	0.2	0.1	0.2	0.1	0.04	0.02	0
I-1	0	0	0.07	0.2	3.8	8.0	5.4	2.0	1.9	0.4	0.2	0



2019-2023年におけるカタクチイワシ卵稚仔の密度の月別推移(年別平均)

表 2016-2023年におけるカタクチイワシ卵稚仔の密度(1m³あたり)の平均値(年別)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2016	0	0	0.01	0.01	0.3	1.4	3.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0
2017	0	0	0	0.1	3.8	2.9	2.0	0.6	1.0	0.08	0.03	0.01
2018	0	0	0	1.5	0.9	1.4	1.0	1.5	0.3	0.09	0.07	0.08
2019	0	0	0	0	0.3	1.8	0.4	0.6	0.1	0.4	0.3	0
2020	0	0	3.4	0.1	1.9	7.8	0.09	0.7	0.5	0.04	0.1	欠測
2021	0	0	欠測	1.0	4.7	4.6	5.0	0.7	1.7	欠測	0.07	0
2022	0	0	0	0.05	0.9	7.8	3.6	0.9	0.5	0.1	欠測	0
2023	0	0.4	2.3	8.5	9.3							

* カタクチイワシ太平洋系群の資源量は近年、減少傾向にあることをふまえ、2016年以降(資源減少後)におけるカタクチイワシ卵稚仔の密度の平均値を示しました。